

1	指定管理者名	労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団
2	指定期間	令和2年4月1日 ～ 令和5年3月31日(3年間)
3	業務の範囲	1 児童館の事業の実施に関すること。 2 児童館の維持管理に関すること。 3 目的外使用許可にかかる事務に関すること。 4 児童館運営委員会の設置、運営管理に関すること。 5 事業評価に関すること。

4. 採点表								
評価項目	細目		配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等	得点
運営・利用状況(40点)	(1)利用状況(10点)	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)	10	平均値比(注) 105%以上:10点、 105%未満～95%:8点、 95%未満～85%:6点、 85%未満:4～0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用率を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用率の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用率の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用率) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用率実績に所要の調整をして算出した値		開館時間中(10:00～18:00)自由来館となっている。 ※新型コロナウイルス感染症対策として消毒時間(13:00～14:00)を設けているため、13:00～14:00は児童館利用をご遠慮いただいている。	-
		②利用人数			平均値比とは、当該評価対象年度の利用人数を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用人数の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用人数の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用人数) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用人数実績に所要の調整をして算出した値 ※今回は指定管理2年目の評価のため、上記(2)を適用 $138\% \div \text{利用人数(延べ人数 6,120 人)} \div 4,433 \text{人} \{ (4,476 \text{人} + 4,391 \text{人}) \div 2 \}$ 新型コロナウイルス対応一律8点(令和2・3年度と同様)		・コロナウイルスの感染拡大によるイベントの自粛や閉館は無かったため、来館者数の増加につながった。 ・調理事業については持ち帰り前提で再開したところ、多くの申込者があったことも来館者の増加につながった。 【4年度】来館者数 6,120人 乳幼児:2,105人 小学生:1,712人 中高生:7人 大人:2,296人 【3年度】来館者数 4,476人 乳幼児:1,651人 小学生:1,001人 中高生:58人 大人:1,766人 【2年度】来館者数 4,391人 乳幼児:2,325人 小学生:383人 中高生:10人 大人:1,673人 ※来館者数と事業参加者は異なる数え方をしています。	8点
	(2)市の事業の企画・運営・実施状況(仕様書内)(15点)		15	仕様書以上:15～12点、 仕様書に忠実:11～9点、 仕様書の一部不実施(軽微):8～7点、 仕様書の一部不実施(中程度):6～3点、 それ以下:2～0点	・乳幼児と保護者を対象とした事業(計51回開催、延べ783名参加) ・児童を対象とした事業(84回開催、延べ541名参加) ・地域交流事業、多世代間交流事業(乳幼児から大人)(計15回開催、延べ727名参加) ・中高生事業(計4回開催、延べ9名参加) ・子育て相談事業と子育てネットワークづくりの推進(計15回開催、延べ27名参加) ※別紙:事業評価表 参照	仕様書以上 13点	・乳幼児クラブは中止もなく、前後期1回ずつ、保健センターの栄養士、保健師を講師に迎えた講話を実施。 ・小学生クラブは、新たな企画も加えて実施し、会員数も増えている。 ・児童館まつりは昨年通りで開催。今回はキックジュニアが「段ボール迷路」を1から企画した。 ・中高生事業は、参加者が少なかった。 ・子育て支援事業は、講演会で参加者の交流を図ったが、参加者は減少した。。	13点
	(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)		15	内容・事業数等が期待以上:15～12点 例年通り:11～9点、 例年よりやや劣る:8～7点、 例年より劣る:6～3点 例年よりかなり劣る 2～0点	・乳幼児と保護者を対象とした事業(計59回開催、延べ545名参加) ・児童を対象とした事業(計42回開催、延べ348名参加) ・地域交流、多世代間交流事業(乳幼児から大人)(計32回開催、延べ662名参加) ・中高生対象事業(計1回開催、延べ3名参加) ・子育て相談事業と子育てネットワークづくりの推進(計45回開催、延べ585名参加) ※別紙:事業報告書 参照	期待以上 14点	・乳幼児事業は、前年度にコロナ禍の中工夫し、大幅に参加者を伸ばしたが、今回もさらに工夫ができた。 ・児童対象事業は、調理事業「もぐもぐ」を再開。デイキャンプは調理、工作、ゲームの3本立てで異学年の交流も行った。 ・地域交流事業は、館イベントに力を入れ、地域とも連携し盛況であった。 ・中高生対象事業は、参加者が少なく、苦慮している。 ・利用者が講師となる「にじいろ」等、母親主体の行事が活発なこともあり、思いに共感したメンバーが20名以上集まり、令和5年度から母親クラブ再結成が実現することとなった。	14点

評価項目		細目		配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等	得点
2	施設管理状況 (25点)	(1)施設管理業務の実施状況(10点)	①清掃	10	①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価する 適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点 ②5項目の合計点とする。 ※駐車場は、期待以上:8点、適正(普通):6点、一部不備あり:4点、不備あり2点	屋内・トイレの清掃:毎日 ガラス・備品の清掃:ガラスは年2回以上、備品はコロナ禍の為毎日 照明器具の清掃:随時 館庭の清掃:週2〜3回等の定期清掃、日常清掃を実施。 時間を見つけ第2駐車場を含め、児童館周辺の側道まで様子を見てゴミ拾いや除草作業を行っている。	適正(普通) 2点	仕様書に定める回数以上、適正に実施されている。	10点
			②保守・点検			遊具点検:毎月の職員点検と年3回の業者点検 電気工作物点検および自動ドア点検:業者委託により実施 パソコンサポート:随時 東京本部情報システム部等によるサポート	適正(普通) 2点	法定点検、日常点検ともに、適正に実施されている。	
			③保安・警備			非常通報装置・消防用設備:警備会社に委託 令和3年度から警備システム導入	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			④小規模修繕			・児童館裏駐車場の整地:バラス投入等 ・蛍光灯交換など、軽微な不具合の修繕 ※10万円未満のものは仕様書の定めにより指定管理者の負担で修繕・修理。 ・輪転機リース契約代 29,700円	適正(普通) 2点	修繕箇所が発生した際は、遅滞なく対応がなされている。	
			⑤危険箇所の把握(施設の瑕疵)			毎月1日に「安全点検日」を設け、全館の点検確認をするとともに、職員研修「リスクマネジメント」を基に「ヒヤリハットシート」を活用している。	適正(普通) 2点	日常の業務の中で、危険箇所を把握し、適正に対応されている。	
		(2)その他管理業務の実施状況(15点)	①文書管理	15	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する 期待以上:3点、適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点 ②5項目の合計点とする。	文書目録を作成し、個人情報を含む重要書類は施錠保管	適正(普通) 2点	文書目録を作成し、それに基づき適正に管理されている。	10点
			②環境への配慮			・「節電・節水に努める」 冷暖房の設定温度を適正設定し、冬期床マットの追加など、季節に合わせた環境設定でエネルギーの浪費を抑えている。 ・「廃材や消耗品の再利用」 紙はリサイクル紙を利用。関係機関へはメール連絡を心掛けている。事業で使用する工作材料はできるだけ廃材を活用し、各家庭でも実践できるよう保護者へ提案している。 ・「ゴミの分別」 リサイクルできるものは適切に分別し、寄付されたおもちゃなどリユースできるものは再活用している。	適正(普通) 2点	・適正に実施されている。	
			③バリアフリー			・玄関のスロープやトイレの手すりなど設置。 ・手すりや机の角に緩衝剤を付けて対応。不使用時のコンセントにはカバーを付ける等利用者の安全に配慮している。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			④備品管理			備品台帳の原本は子ども支援課で保管。コピーを適正に管理している。年1回照合。	適正(普通) 2点	適正に管理されている。	
			⑤個人情報保護			特定非営利活動法人ワーカーズコープとして『個人情報保護規定』を作成し、情報は施錠保管のうえ管理している。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			⑥事故等への対応	0	事故等への対応は減点対象とする 事故なし及び事故等の対応に不備なし:0点、事故等の対応に不備あり:△1点	事故無し。 事故防止のため、以下のことを常に意識して勤務 ・親がトイレ等行く場合は職員が必ず子どもを注視 ・定期的に職員が交代で活動の様子を確認 ・ジャングルジムから飛び降りる等の事故が想定されるため、ジャングルジムの座面を低い位置に設定(開館前に必ず確認)	事故なし・対応に不備なし 0点	・利用者に注意喚起を行い、子どもの見守り等保護者に向けての注意喚起を徹底する。 ・ワーカーズコープとして保険に加入している。	0点
3	当該施設の経営状況 (-点)	①事業収支			施設の特性から評価対象外の項目	(参考)収入 収入 11,214,619÷支出 11,462,073≒98% 収支状況が必ずしも管理運営状況を反映するものではないため、評価対象外とする。(令和2年度から)			

評価項目		細目		配点	採点基準		実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等		得点
4	より良い施設運営のための取組 (35点)	(1)市民・利用者の声の反映 (20点)	①ニーズの把握・事業への反映	15	期待以上:15～12点、 適正(普通):11～9点、 普通未満～物足りない:8～0点	・窓口に意見箱を設置するとともに、「乳幼児クラブ」「小学生クラブ」のアンケートをはじめ、「児童館まつり」「にじいろ」「わくわくバザー」等の各行事終了時にアンケートを実施した。 ・日常においても、利用者に声をかけニーズの把握に努めている。	期待以上 13点	・乳幼児クラブでは前後期の最終日に実施するアンケート結果を踏まえ、次期のクラブに取り組むことで対応している。またクラブ内での活動の様子も職員内で共有し、来館者対応に反映している。他にも、各行事に対しアンケートに回答し、意見を反映している。日頃からの聞き取りにも重点を置き、事業および施設運営に反映改善に努めている。	13点		
			②苦情対応	5	期待以上:5点、 適正(普通):4点、 不備あり:3～1点 ※苦情なしは5点とする	苦情なし。	期待以上・苦情なし 5点	ワーカーズコープとして、苦情解決第三者委員を設置している。	5点		
		(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1～3の評価に反映されないその他の成果ポイント (15点)		15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が 期待以上:15～12点、 適正(普通):11～9点、 普通未満～物足りない:8～0点	・施設管理に一番重要な人員確保の為に、常時勤務する以外の臨時有資格者を登録し、大きな事業や学校休業日・長期休暇中など来館者の多い場合や急な職員の欠勤に対応できるようにした。 ・労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団では、『全国子ども・子育てケアプロジェクト』を組織し、子育て・子育て・障がい児支援の大規模な研究交流を行っている。 毎月「全国子育てWEBミーティング」・5月14日11月19日「全国子ども子育てケアプロジェクト会議」・9月10日～11日「全国子育てフォーラム」(オンライン)・11月5日「実践交流集会」子育ての中で体験する事的重要性を実践報告と共に学習した。・年間全国規模の研究交流会を計8回開催。(オンライン)・東海事業本部においても「東海事業本部子育てPJ会議」毎月開催。(オンライン)・法人内児童館職員研修を毎月第2月曜日を基本に開催した。 ・下記他団体の研修会に参加し、未参加者へは伝達研修を行った。 【主催:岐阜県】9/2 木育フォローアップ研修 10/25.2/25ぎふ木育サポーター研修 飛騨五木株式会社【主催:岐阜県児童館連絡協議会】9/6館長研修会「安全指導・安全管理」岐阜県児童館連絡協議会副会長 古田稔幸先生「館長交流会」～コロナ禍における児童館での工夫～・10/28東濃地域児童館職員等研修会「地域福祉活動」愛知文教女子短期大学幼児教育学科 祢宜佐統美先生「虐待講話」岐阜県東濃子ども相談センター 武井勇美子先生「ゲーム運動あそび(科学あそび)」サイエンスワールド 細江理恵子先生・11/8東濃ブロック研修会「表現活動(身体表現)」スタジオf日本こどもフィットネス協会 荻野房子先生	期待以上 14点	・地域行事や会議への職員の参加や、地域との積極的な連携を行っている。 ・全国組織である点を活かし、様々な研修に参加し、それを共有することで職員の資質向上に努めた。 ・9/2の木育フォローアップ研修では木育ひろばを設置している施設の職員が集まり、コロナ禍でのおもちゃの取り扱いや消毒方法などを共有した。 ・10/25.2/25に開催された木育サポーター研修も常駐の職員が参加。「木育ひろば」を開催するにあたり、「ぎふ木育とは何か」から木のおもちゃの特徴、県産材を使った木育教材の遊び方や紹介等を通し、木育に関する知識を深め、行事に反映させた。今回参加したことにより、笠原児童館に常駐する職員誰でも、木育ひろばを来館者に教えることができる体制となった。乳幼児だけでなく、小学生以上の子どもや大人も一緒に楽しめる「木育ひろば」を開催するため、他の児童館や施設にある木のおもちゃを借りて開催する等、受講後は学んだ事を反映した行事企画を行うことができた。 ・9/6に開催された県児連主催の館長研修は「安全管理」の内容で「ヒヤリ・ハット」の話から子どもたちが遊んでいる資料を見て事故リスクや危険予知(KYT)を考え、参加者と共有することで様々な視点を持って安全管理を学ぶ事ができた。 ・11/8の東濃地区ブロック研修会では来館した子どもたちとも簡単にできる身体を使ったゲームの紹介があった。体を使ったじゃんけん遊び、家でも親子で遊びながら身体を鍛えるような遊びの提示があり、自由来館で来る小学生の子どもたちと一緒に実践することができ、子どもたちの遊びの幅を増やすことができた。	14点		
5	その他 (減点方式)	(1)報告書類の提出状況		0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする(遅れ・不備内容の程度により△1～△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、 一部遅れ・不備あり(中程度):△2、 一部遅れ・不備あり(それ以下):△3	提出書類の遅れなし。	遅れ・不備なし 減点なし	適正に実施されている。	0点		
		(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等		0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1～△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、対応等が期待以下(軽微):△1、対応等が期待以下(中程度):△2、対応等が期待以下(それ以下):△3	指示は特になし。	指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし	適正に実施されている。	0点		
合計				100	【4段階評価】 極めて良好100～85点 良好 84～65点 努力が必要 64～45点 取消し等を検討44点以下					87点	
									全体的な評価 ・極めて良好な管理が行われている。 ・母親クラブが令和5年度から再結成されることになるなど、関係団体等への支援、連携に努め、成果があった。		極めて良好